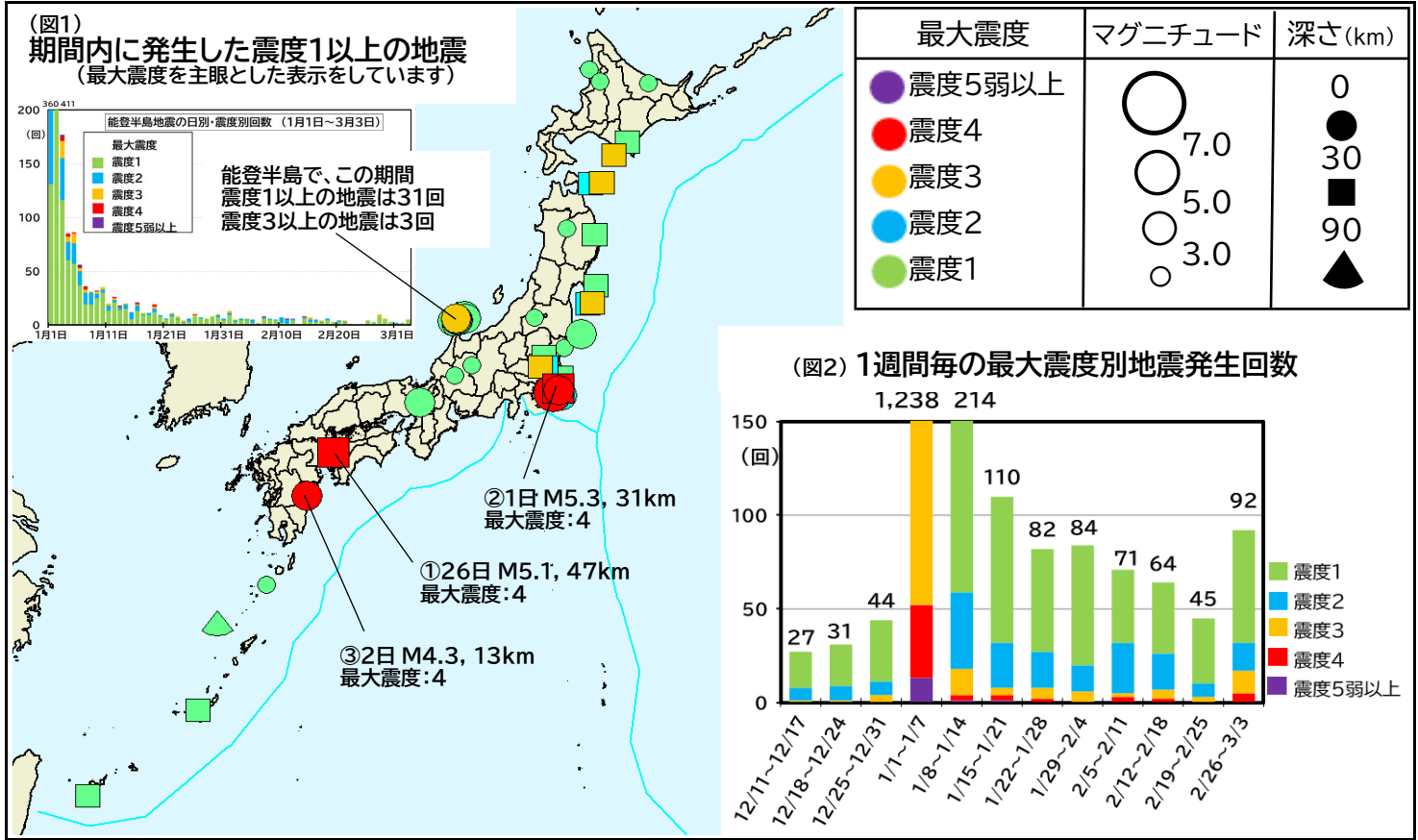


この期間の最大震度は4 (千葉県東方沖で頻発)

本資料は上記期間に国内で発生した震度1以上の地震についてまとめたもの (出典: 気象庁震度データベース/地震情報)



主な地震の発生状況 (図1,図2参照)

- この期間、震度1以上の地震が92回発生。最大震度は4(千葉県東方沖で頻発。能登半島は少ない状況で経過) ■
- ①2月26日15時24分に伊予灘で発生した地震(M5.1、深さ47km)により、愛媛県松山市・今治市・西条市など、広島県呉市・府中町で震度4を観測したほか、近畿地方西部から九州地方にかけての広い範囲で震度3~1を観測。
- ②3月1日05時43分に千葉県東方沖で発生した地震(M5.3、深さ31km)により、千葉県大網白里市・東金市・市原市など、埼玉県さいたま市で震度4を観測したほか、関東地方を中心に東北地方南部から北信越、東海地方にかけて震度3~1を観測。この付近では27日から震度1以上を観測する地震が頻発している (トピックス参照)。
- ③3月2日23時00分に宮崎県北部平野部で発生した地震(M4.3、深さ13km)により、宮崎県延岡市・門川町で震度4を観測したほか、四国地方西部から九州地方で震度3~1を観測。

トピックス

■ 千葉県東方沖の地震活動 ■

- ・千葉県東方沖では2月27日から震度1以上を観測する地震が頻発している。
- ・3月3日までに震度1以上を観測した地震は32回(最大震度4が3回、震度3が5回、震度2が11回、震度1が13回)発生した。
- ・この期間最大規模の地震は、上記の3月1日に発生したM5.3、最大震度4の地震。
- ・これらの地震は、フィリピン海プレートと陸のプレートの境界で発生した逆断層型の地震。
- ・この付近では、過去にも数年間隔で今回同様に地震が頻発する活動が観測されており(2014年、2018年など)に見られており、1週間から1~2か月程度地震活動が継続することがある。
- ・これらの地震が発生する原因として”ゆっくりすべり”と呼ばれている聞きなれない用語が頻繁に報道されています。
- ・”ゆっくりすべり”を簡単にいうと、プレート境界で発生するタイプの地震のうち、3・11のようにプレート境界が一気にずれ動き大きな規模の地震となるのではなく、プレート境界が”ゆっくりとずれ動く”ため、大きな揺れを伴う地震とはならないが、ゆっくりすべりが発生している所の周辺では歪がたまって、小さなずれ動きが発生する現象です。”ゆっくりすべり自体”は体を感じるような揺れは伴わず、”ゆっくりすべり”に伴って発生している地震です。
- ・しかし、震源の深さが比較的浅いので、陸地で発生すると最大震度は5弱程度になることもあるので注意。

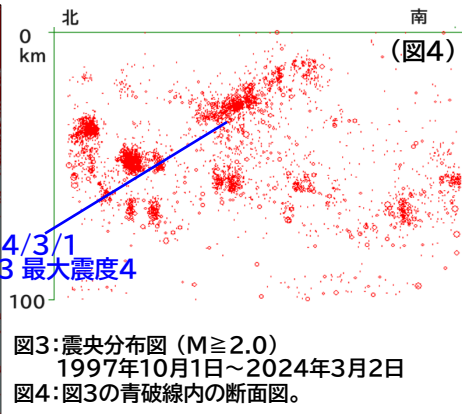
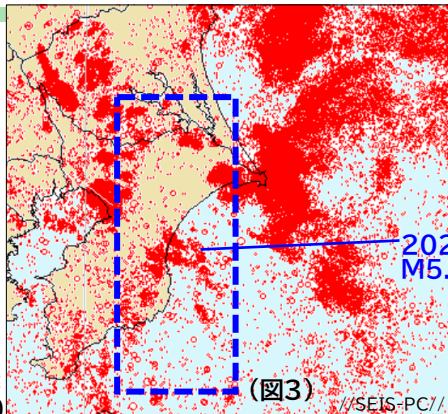


図3: 震央分布図 (M ≥ 2.0) 1997年10月1日~2024年3月2日
図4: 図3の青破線内の断面図。